

**東海カーボン株式会社と
立地協定を新たに締結**



写真左から竹崎町長、中島東海カーボン（株）田ノ浦工場長、真崎県観光労働部新産業振興局長

東海カーボン（株） 田ノ浦工場増設

40億円を投資！



防災訓練

防災意識を高めよう

八代海沖を震源とする震度6、津波2～3mの災害が起きたという想定で防災訓練を実施

3月11日に発生した東日本大震災を教訓に防災意識の向上を図る目的で、11月13日、町内4か所において地震防災訓練が実施されました。

防災訓練を実施した地域は、女島地区（福浦・沖区）、計石地区（計石西・計石東区）、海浦地区（海浦1・2区）、吉尾地区（吉尾・市居原・簸瀬区）で総勢約600人が参加しました。

午前8時10分に防災無線により各地区の住民へ向け地震発生と津波警報が発令されたことを放送。放送後、参加者は各地区で指定された広場や高台などの避難場所に避難。役場では災害対策本部を設

▲芦北幼稚園児も津波警報の知らせを聞き、高台へ移動

訓練終了後には、各地区で初期消火訓練などが行われました。

海浦地区では、火災に遭遇した場合に備え、消火栓の使い方や消火器を使った消火訓練を行いました。

消防署からは「今日の訓練どおりに行動すれば大丈夫。しかし、実際、災害に遭うと慌ててしまい落ち着いて行動ができなくなる。このような訓練を通して地域で常に非常時の体制などを話し合っておく必要がある。普段から避難場所を、



▲役場に設置された災害対策本部。各地区からの被害状況の把握、避難勧告の指示などの訓練を実施しました

置し、地元消防団からの被害状況を集め、山間部で土砂崩れが発生した地域に避難勧告を指示。また、災害時に協力する協定を町と結んでいる町アマチュア無線クラブによる通信訓練も行いました。

その他、救援物資輸送や自衛隊への応援要請のシミュレーションも実施しました。



▶調印を行う竹崎町長

東海カーボン株式会社田ノ浦工場の工場増設されることに際し、芦北町が工場増設に関する協力をすることや東海カーボンが本町出身者を優先的に雇用するよう配慮する、などといった項目を盛り込んだ立地協定書の調印式が11月11日、熊本県庁において行われました。調印式は熊本県商工観光労働部新産業振興局長立ち会いのもと、竹崎町長と中島工場長が調印しました。

東海カーボンと芦北町はこれまでも平成19年3月と本年3月に工場や設備投資に伴う立地協定を締結しており、今回で3回目の協定締結となります。

今回、東海カーボンは田ノ浦工場に40億円を投資し、特殊炭素製品（ファイナカーボン）の生産能力を現在の年1万トンから5割高める計画。ファイナカーボンの中でも「等方性黒鉛」の素材を製造している設備を増設します。「等方性黒鉛」は、半導体や太陽電池の製造装置、燃料電池などの部材として欠かせない材料で、現在最も注目されている材料の一つです。東海カーボンは工場増設に直ちに取



▲消火器を使った初期消火訓練（吉尾地区）



▲消火栓の使用方法を住民に説明（海浦地区）

3か所考えておくように」と参加者に話されました。

今回の防災訓練に参加された方もそうでない方も今一度避難場所などの確認を家族で話し合っておくかがでしょうか。



▲田ノ浦工場で製造される等方性黒鉛

東海カーボンはファイナカーボンをはじめ、自動車のタイヤなどの材料となるカーボンブラックや黒鉛電極などの製造・加工・販売を行っている企業で、国内に8か所の工場があります。「等方性黒鉛」は国内では田ノ浦工場のみが製造しています。

中島工場長は「世界的に需要が見込まれている材料を増産するために設備投資を行います。この工場増設に伴い、45人の新規雇用を見込んでいます」と話されました。竹崎町長は「有効求人倍率が低い水俣芦北地域で、45人の新規雇用とは大変ありがたく感謝しています」とあいさつ。



▲中島工場長

受章おめでとうございます

瑞宝双光章
明石 輝雄さん（湯浦北）



明石さんは、昭和19年に吉尾村立吉尾青年学校の教諭に始まり昭和58年の湯浦中学校の校長まで永きにわたり教職を務められ、生徒の学力・体力の向上、健全な精神の育成、教育環境の整備に多大な貢献をされました。退職後は、青少年に剣道、居合道の指導を行い青少年の健全育成に尽力されました。その功績に対し授与されたものです。明石さんは「皆さんのおかげでこのような立派な章をいただくことができました。これからも地域に貢献できるよう頑張ります」と受章の喜びを話されました。

瑞宝双光章
山本 榮子さん（道川内東）



山本さんは、昭和56年に開設された身体障害者療護施設「石路の里」の園長として、平成20年に名称変更し障害者支援施設「石路の里」となつてからは施設長として施設の運営に永年携わつてこられ、障害者福祉の向上に尽力されました。山本さんは「施設職員の皆さんや周りの方々のご協力のおかげでここまでやってこれました。今回いただいた章は私個人ではなく、施設が受章したものだと思っています。これからも心して自分の考える福祉の道を歩んでいきたいです」と話されました。

中学校の授業に空手道を必修化

全国に先立ち本年度から導入

文部科学省は、平成24年度から中学校保健体育の授業において武道の必修化を決定しています。武道は、武技、武術などから発生した日本固有の文化であり、武道の伝統的な考え方や礼節を身につけられるという理由で平成20年に告示された中学校学習指導要領により必修化されました。

芦北町においては、全国に先立ち、



▲真剣な眼差しで空手道の授業に臨む田浦中の生徒

礼節を重んじる態度を養成するため「空手道」を本年度から町内すべての中学校に導入し、特色ある教育の推進を実施しています。

「空手道」については①町内で最も盛んなスポーツの一つであり、優れた指導者がいる②道具・道着をそろえる必要が柔道や剣道に比べ少なく、体操服のままできる③形を中心に指導するので怪我をする可能性が低く安全。などの理由で導入を決定しました。

生徒を万全の体制で指導するため、各中学校の保健体育の先生方は8月に東京で行われた全国空手道指導者研修会で日本空手道連盟から直接指導を受け、段位を取得し、必修化に向け準備を行ってきました。

そして11月、いよいよ生徒に対する授業が開始されました。

指導にあたる田浦中の中村直人教諭は「空手道は同じ町内に全国レベルの生徒がいるのでみんな興味を持って取り組むと思う。人として大事にして欲しい礼節も空手道を通して伝えたい。今年度末には形の発表会ができれば」と今後の意気込みを話されました。

前田将さん救急車購入にと 3,000万円を寄附

前田将さん（米田）が11月15日、水俣芦北広域行政事務組合へ3,000万円を寄附されました。

前田さんは、旧芦北町議会議長時代に同組合議会議員、旧芦北町長時代には理事として15年間広域行政に携わつてこられ、その間「住民の生命と財産を守るため、身を以て日夜努力して活動している消防・救急隊員の姿に感銘を受けていた。何らかの形で感謝を



▲宮本代表理事に3,000万円の目録を贈呈する前田さん（写真右）

「前田将さん（米田）が11月15日、水俣芦北広域行政事務組合へ3,000万円を寄附されました。」

「前田さんは、旧芦北町議会議長時代に同組合議会議員、旧芦北町長時代には理事として15年間広域行政に携わつてこられ、その間「住民の生命と財産を守るため、身を以て日夜努力して活動している消防・救急隊員の姿に感銘を受けていた。何らかの形で感謝を

「前田さんは、旧芦北町議会議長時代に同組合議会議員、旧芦北町長時代には理事として15年間広域行政に携わつてこられ、その間「住民の生命と財産を守るため、身を以て日夜努力して活動している消防・救急隊員の姿に感銘を受けていた。何らかの形で感謝を

岩田消防本部消防長は「組合は現在3台の救急車を配備しています。その中で古い規格の救急車1台を今回の寄附金で買い替える予定。これで処置するのに作業がしやすいよう屋根が高く、高度救急資材を装備した高規格救急車がそろいます」と話されました。

前田さんはこれまで、本町にも学校図書購入に寄附をされています。

「人のために」が私の人生訓。人の役に立つことが嬉しい」と話されました。

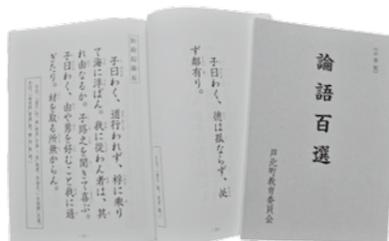
論語に親しもう



「子曰く」。小学校の教室から論語を読む子どもたちの大きな声が聞こえてきます。

芦北町では、新学習指導要領に「伝統的な言語文化」の指導が盛り込まれたことを受け、論語を本年4月から町内の小学4年生から中学2年生まで徳育教育を推進するため芦北町教育委員会が町内小中学校に指導。論語の教科書「論語百選」を独自に編さんし、児童・生徒に配布しています。

4月には、教職員を対象に研修会を実施。講師を務めた肥後時習館顕彰会の筑紫汎三会長は「論語を声に出して読む素読だけでなく十分成果があります」と指導されました。



▲芦北町教育委員会が作成した「論語百選」。小学校版・中学校版があります

に論語教育を展開しており、毎週水曜と金曜の朝15分間、論語の音読に取り組んでいます。「己の欲せざることを人に施すことなかれ」など有名なことわざや「克己復礼」といった難しいものまで音読し、先生がその意味を説明します。大野小5年担任の鳥居寛信教諭は「リズムよく読ませることを心掛けています。意味は難しいところもあるが、高校や大人になつたときに役に立つ。子どもたちが率先して音読に取り組んでいます」と話されました。





②



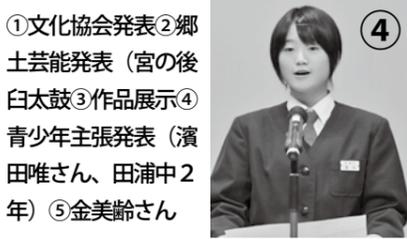
①

芦北町文化祭

文化に触れる



③



④



⑤

①文化協会発表②郷土芸能発表(宮の後白太鼓)③作品展示④青少年主張発表(濱田唯さん、田浦中2年)⑤金美齢さん

10月29日、30日の2日間、しろやまスカイドームで芦北町文化祭が開催されました。

29日、開会式のオープニングでは田浦祝い唄保存会による「祝いめでた」の披露と芦北町吹奏楽団による演奏がありました。その後、ステージでは、町文化協会に所属している17団体による舞踊やハワイアンフラダンス、詩吟などの発表が行われました。

30日には、伏木氏棒踊りや花岡東獅子舞、才木兵糧搗き唄、宮の後白太鼓の4団体が地区に伝わる郷土芸能を披露しました。青少年主張発表では、小学生から高校生までの7人が「未来の芦北町」や「郷土から愛を」などのテーマで発表しました。

その他、会場では、町民講座や趣味、習い事で取り組んでいる書道・

生け花・絵画・陶芸・写真などや小中学生の書道・絵画・工作、福祉施設からの作品約1000点が展示され、来場者は足を止め、作品にじっくり見入っていました。

11月3日は、評論家の金美齢さんによる「震災から見えてきた日本人の姿」と題した講演会が同会場で行われました。「日本人は今回の東日本大震災できちっと秩序を守って行動していると海外から褒められている。日本人は世界に誇る素晴らしいものをたくさん持っている。しかし、自分さえよければいいという『利己主義』の人がどんどん増えてきているのが心配」と話され、「無関心でもなく、人に言われて実行するのでなく、節電にしろ何でも人から言われなくてもできる人になってください」とメッセージを送られました。

芦北高校90周年記念式典



芦北高校の創立90周年記念式典が11月11日、同校体育館で行われ、生徒や卒業生、来賓など約500人が出席し開催されました。

同校の前身は大正10年に設立された葦北郡立葦北農林学校です。昭和23年に芦北高等女学校と合併し芦北農林高校となり、その後、昭和57年に現在の校名となりました。現在までに14,000人を超える卒業生を輩出しています。式典では、白柿校長が「100周年に向け新たな未来への第1歩を踏み出しました」とあいさつ。在校生を代表して林業科2年の志崎琢弥生徒会長が「人を思い敬う心を大事にして色々なことに取り組んでいきます」と誓いました。続いて卒業生で元水俣市長の吉井正澄さんによる記念講演会が行われました。

伝統的な製法で機織り

機織り活動家の後藤順子さん(古石北)が11月3日から8日まで「棚の機屋展」と題した個展を古石の工房で開催されました。会場には3年2か月かけて製作した布などが展示。京都の友禅作家である高橋裕博さんは「彼女は、日本の技術を伝承する役割を持っている。将来は人間国宝になると思っている」と話されました。後藤さんは、大阪府出身。大学時代、機織りに魅了され、沖縄で修行。糸作りから機織りまでの作業を一人でできるまで習得されました。「作業には常に水が必要。糸が細く切れやすいので霧が多く、湿度が適当な古石は糸作りに最適な気候です」と今年10月に古石に移住されました。目標は、「着物がつくれる1反(約12メートル)の布地を作り上げること」と話されました。



グランドチャンピオン賞受賞

11月4日、熊本畜産流通センター(菊池市)で第19回JA熊本経済連肉畜枝肉共励会が開催され、山口清志さん(米田、写真中央)が肉牛の部(黒毛和種、褐毛和種、交雑種、乳用種)の最優秀賞であるグランドチャンピオン賞を受賞されました。山口さんが出品した牛は、出品された120頭の牛のなかで、枝肉の質が最も高く評価され、1キロ7,000円の高値で取引されました。山口さんは、今回が初受賞で、芦北町の畜産農家のグランドチャンピオン賞の受賞は昨年到现在まで4人目、6回目となります。「芦北の皆さんと一緒に、『愛が育てるあしきた牛』のスローガンを実践すべくこれからも頑張っていきたい」と受賞の感想を述べられました。



戦国の城攻めは大変だ!

11月12日、町民歴史講座の現地研修会が行われ、20人の受講生が参加しました。今回の講座では、町内に残る3つの城跡(兼丸城、佐敷東の城、佐敷城跡)を訪れ、城の構造や歴史、当時の痕跡を学習しました(写真は兼丸城跡での学習風景)。

佐敷東の城の険しさや城内に残る堀切(敵を防ぐために尾根を断ち切った場所)の大きさに参加者は信じられない様子。機械などなかった時代にこれだけの土木工事を人力で行う当時の技術の高さと人間の根気に驚かされていました。また、佐敷城跡では葦北鉄砲隊がサプライズで登場し演武を披露。突然の不意打ちにびっくりするなど、参加者は当時の人々が城を攻めたときの緊張感を味わいました。



保健センターだより



はじめよう はたちの献血!

「はたちの献血」キャンペーン(平成24年1月1日~2月29日)

例年、冬季は献血者が減少しがちですが、安全な血液製剤の安定的な確保は、医療にとって必要不可欠です。

そこで、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心に、広く国民各層から献血に対するご理解とご協力をいただくため、1月・2月の2か月間、「はたちの献血」キャンペーンを厚生労働省、都道府県および日本赤十字社の共催により実施します。

キャンペーン期間中は、全国各地において地域や学生ボランティア団体等のご協力をいただき、さまざまなイベントの開催を通じて、献血の呼び掛けを積極的に行います。**献血は身近なボランティアです。**ぜひこの機会にご協力をお願いします。

また、安全性の高い血液の確保のために、400ml献血、成分献血への継続的なご協力をお願いします。

♪♪複数回献血クラブ「ちくちく」メール会員募集中♪♪

熊本県赤十字血液センターでは、安全性の高い血液を安定的に確保することを目的に、年間複数回の献血をお願いできる方を対象にメール会員を募集しています。

ご登録(献血1回で登録可)していただくと、メールにて血液不足時の献血依頼のほか、各種イベント・キャンペーンのご案内をさせていただきます。

また、会員特典として専用献血カード(2種類)への切り替え、オリジナル壁紙や着メロのダウンロード、会員専用ページにアクセスいただくと、いつでもご自身の献血履歴や血液検査結果などをご覧いただくことができます。



会員専用献血カード

◎携帯からの登録
abo@kenketsu.jp ⇒ 空メール送信
QRコードからアクセス
⇒



◎パソコンからも登録できます。
<http://www.kenketsu.jp>



*お問い合わせ 保健センター ☎86-0200

平成24年度(財)水俣・芦北地域振興財団助成事業を募集します

●地域振興事業
町内において活動し、本町の地域産業の振興や地域住民の自主的な地域づくり活動を支援する事業等に関する取り組みを考えている団体で、一定の条件を満たすと助成が受けられます。
対象事業には、地場特産品等を活用した新製品の開発や物産・観光フェア、人材育成、地域間交流等があります。助成を希望される団体は、1月5日(木)までにお申し込みください。

●環境技術研究開発事業
水俣病の発生によって経済的・社会的に深刻な影響を受けた地域の株式会社やその他の法人、当該地域との連携が可能な大学、短期大学、高等専門学校が、環境配慮型の研究開発に関する事業を行う場合に一定の条件を満たすと、その事業の費用の全部または一部の助成を受けられます。
対象事業には、省エネ、低公害性、廃棄物のリサイクル等に関する研究および開発、エコフェア、環境シンポジウムの開催等があります。助成を希望される団体の方は、12月26日(月)までにお申し込みください。
*申込・お問い合わせ
企画財政課まちづくり推進係
☎(82)2511(内線252)

久保田晋輔君(芦北高校) 文部科学大臣賞受賞



長崎県で10月に開催された第62回日本農業クラブ全国大会で久保田晋輔君(芦北高校)が2年、写真前列中央)が意見発表会の環境部門において最優秀賞である文部科学大臣賞を受賞されました。また、同大会のプロジェクト発表会の環境部門では芦北高校(桑原裕也・田平健斗・一阪麻未・藤崎恵莉佳・川添孝太・沼田典憲・山本大介、敬称略)が優秀賞を受賞されました。両者とも県大会、九州大会を優勝しての全国大会の出場で、久保田君は「私の林業と森林環境保全への思い」、プロジェクトチームは「蛸の名所復活☆乙千屋川における環境再生活動」を発表されました。

受賞の報告に竹崎町長を表敬訪問された久保田君は「今回の受賞はとてもいい経験。さらに意欲を持ってこれから色々なことに取り組んでいきたい」と受賞の感想を話されました。

芦北の少年少女拳士、大活躍



▲男子5・6年 海王塾A

▲女子5・6年 海王塾

11月20日、しるやまスカイドームにおいて第37回熊日学童五輪空手道大会が行われ県内30団体から300人以上の小学生拳士が形の部と組手の部で日頃の技を競いました。

町内からは芦北町海王塾が出場。総合成績(形と組手の総合成績)では5・6年男子の芦北町海王塾Aが昨年に続き優勝。5・6年女子の芦北町海王塾も8年ぶりに優勝しました。

◇5・6年
【男子】形2位海王塾A(鬼塚、田村、深野)、組手優勝海王塾A(同)、3位海王塾B(佐藤、岩下、中川)
【女子】形3位海王塾(釜、鬼塚、山本)、組手優勝海王塾(同)

◇3・4年
【混合】形2位海王塾(橋本、簗田、下川)
【男子】組手3位海王塾(北岡、簗田、下川)
◇1・2年
【女子】組手3位海王塾(釜、下川、荒木)

おいでませ山口大会 銀、銅メダル獲得



10月に山口県で開催された全国障害者スポーツ大会(おいでませ!山口大会)で、熊本県代表として出場された山川文雄さん(湯浦南)と松本秀子さん(米田)が入賞報告に竹崎町長を訪問されました。

山川さんは、アーチェリー競技30mで銀メダルを、松本さんはフライングディスクのアカユラシの部(5m)に出場し銅メダルを、ディスクの部(10m)でも銅メダルを獲得されました。山川さんは「金メダルを獲りたかった。練習の成果を本番で出せなかった」と悔しい様子。松本さんは「小中学生などの大会ボランティアの温かいおもてなしに感動しました。まさかメダルを獲れるとは」と入賞された感想を述べられました。

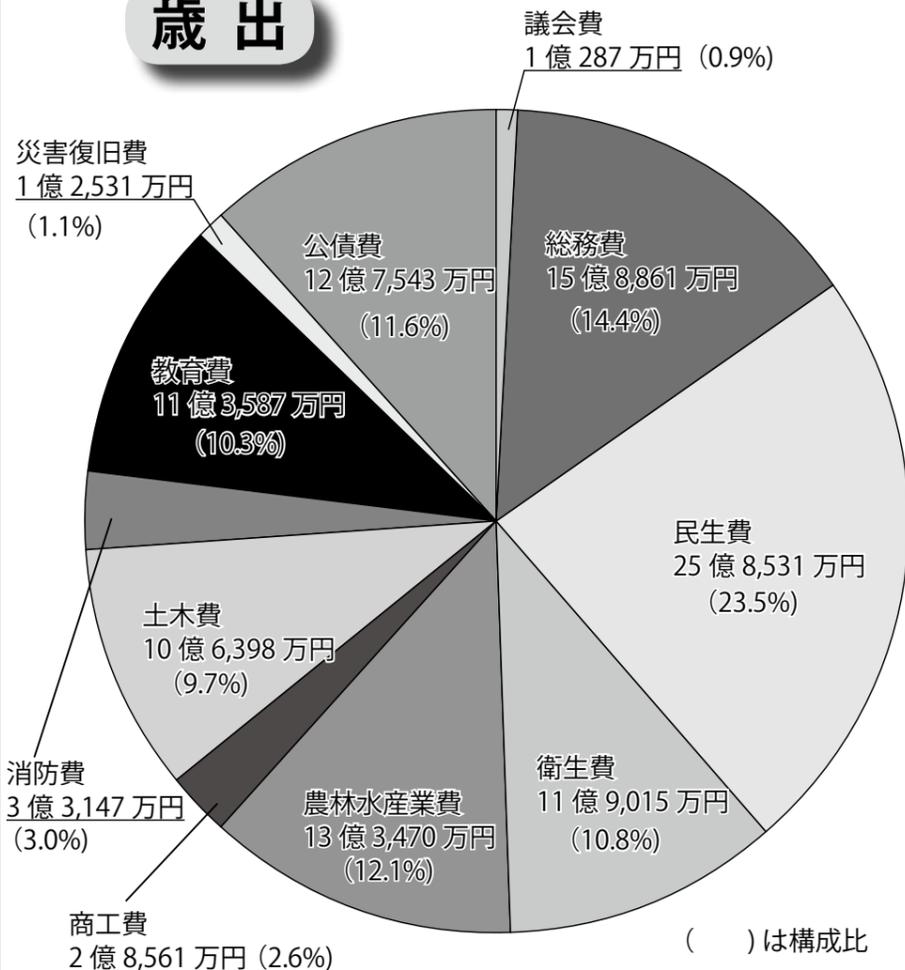
芦北町の 決算報告

町民1人当たりの
徴税額と決算額



町民1人当たりの徴税額は「7万3,714円」で、1人当たりの歳出決算額は「55万1,572円」であることから、税負担の約7.5倍の行政サービスが提供されていることになります。
(注) 住基人口19,978人(平成23年3月31日現在)で算出しています。

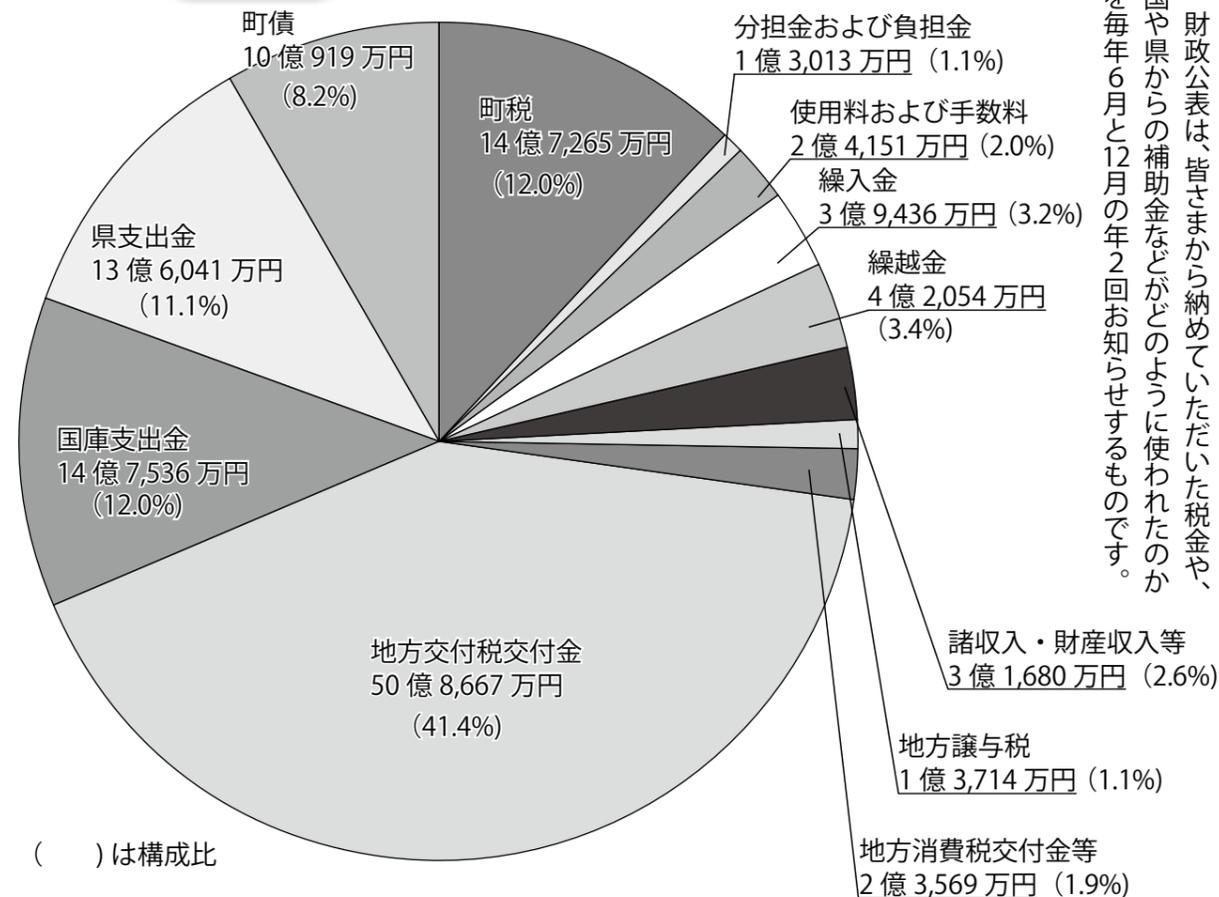
一般会計 歳出



歳出総額

110億1,931万円

一般会計 歳入

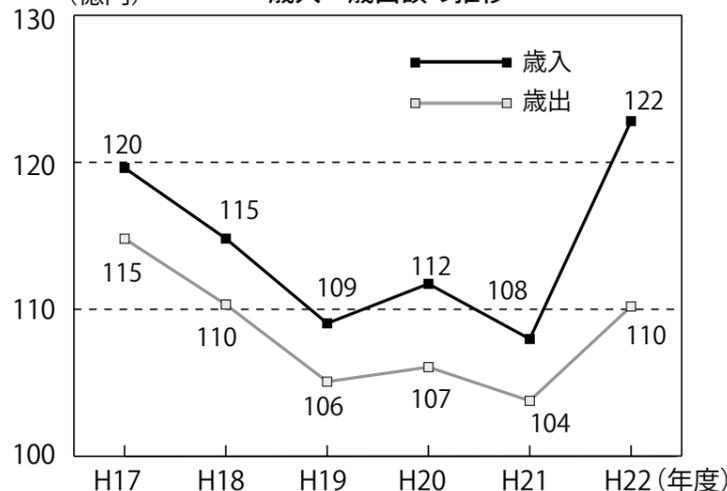


歳入総額

122億8,045万円

平成22年度の一般会計と特別会計の決算が、9月定例会の審議を経て認定されました。
財政公表は、皆さまから納めていただいた税金や、国や県からの補助金などがどのように使われたのかを毎年6月と12月の年2回お知らせするものです。

(億円) 歳入・歳出額の推移



歳出

歳出は目的別にみると、民生費が25億8,531万円、歳出の23.5%を占め最も多く、次いで総務費、公債費の順となっています。
昨年度との比較で6.2%の伸びとなっておりますが、衛生費は清掃センター・芦北事業所解体整備工事、農林水産事業費は国などの交付金活用による果樹選果機導入、土木費は湯北都市下水路整備、道路整備などが増加の主な原因です。

歳入

歳入は、町税や使用料など町が独自に徴収する「自主財源」と国や県などから割り当てられる「依存財源」に分けられます。
芦北町の自主財源の合計は29億7,599万円、歳入の24.2%を占め、このうち町民税や固定資産税などの町税が14億7,265万円、歳入の12.0%を占めています。
一方、依存財源の合計は93億4,467万円、歳入の75.8%を占め、50億8,667万円の地方交付税交付金を主とする依存財源に頼らざるを得ない構成となっています。

一般会計の決算の状況

平成22年度の一般会計の決算額は、歳入が122億8,045万円(前年度比13.7%増)で歳出が110億1,931万円(前年度比6.2%増)となり歳入から歳出を差し引くと12億6,113万円の黒字となりました。このうち8億9,922万円が平成23年度に引き続き実施する事業の費用として必要な経費(繰越財源)に充てられるため、実質的な収支は4億5,121万円の黒字になりました。

特別会計の決算状況

特別会計とは、特定の事業を展開するに当たって、それぞれの事業収入で独立採算を原則として運営する会計のことです。芦北町には、10の特別会計があります。

特別会計の歳入総額は63億1,884万円（前年度比11.4%増）、歳出総額は60億657万円（前年度比3.6%増）となりました。

会計名称	歳入	歳出
国民健康保険事業特別会計（事業勘定）	35億915万円	33億6,887万円
国民健康保険事業特別会計（直診勘定）	6,358万円	5,660万円
老人保健事業特別会計	294万円	294万円
介護保険事業特別会計	20億461万円	18億6,738万円
簡易水道事業特別会計	1億576万円	9,600万円
農業集落排水事業特別会計	2億505万円	2億505万円
生活排水処理事業特別会計	5,368万円	5,368万円
町有温泉事業特別会計	1億1,205万円	1億795万円
奨学資金貸付事業特別会計	2,582万円	1,282万円
後期高齢者医療事業特別会計	2億3,620万円	2億3,528万円
合計	63億1,884万円	60億657万円

芦北町は健全で安定した財政運営を行っています！

芦北町の財政状況は、財政健全化法の基準を大きくクリアしており健全財政を保っています

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、健全化判断比率と資金不足比率の公表が義務付けられています。公表する指標は、町の赤字の状況や借入金等の負債の状況を示したものです。この指標が、一定の基準を超えた場合は、町の行政運営を行う上で様々な制限が設けられます。

芦北町の財政は、下表のとおり国の早期健全化基準を昨年同様、大きく下回っており「健全な状態」ということがわかります。また、資金不足比率についてもすべての企業会計において資金不足額はありません。

●健全化判断比率

指標	芦北町	早期健全化基準	財政再生基準	指標の説明
実質赤字比率	赤字なし	14.06%	20.0%	一般会計等（一般会計・温泉会計・奨学資金会計）の赤字の程度を示した指標です。
連結実質赤字比率	赤字なし	19.06%	35.0%	芦北町の全会計の赤字の程度を示した指標です。
実質公債費比率	6.8%	25.0%	35.0%	過去3年間の借入金返済額の大きさを示した指標です。県内市町村平均は11.7%です。
将来負担比率	18.3%	350.0%		借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の大きさを示した指標です。県内市町村平均は59.1%です。

●資金不足比率

事業名	芦北町	経営健全化基準	指標の説明
水道事業会計	資金不足なし	20.0%	公営企業における資金の不足額の大きさを示した指標です。
簡易水道事業特別会計	資金不足なし		
農業集落排水事業特別会計	資金不足なし		
生活排水処理事業特別会計	資金不足なし		

平成 22 年度 一般会計の主な使いみち

●魅力的な地域づくり

人材育成事業	440万円
町民講座運営事業	486万円
芦北町まちづくり支援事業	544万円
芦北町まちづくり支援事業花苗等配布事業	100万円
コミュニティ助成事業	220万円

●人にやさしい快適なまちづくり

防火水槽新設工事	2,301万円
小型動力ポンプ付積載車購入	447万円
子宮頸がん予防接種事業	899万円
新型インフルエンザ予防接種事業	2,299万円
各種検診事業	2,922万円
ごみ収集・運搬業務	3,631万円
生ごみ収集・処分業務	2,936万円
住宅用太陽光発電システム設置費補助事業	642万円
自立支援医療費（更正医療）給付事業	2,125万円
地域活動支援センター支援事業	680万円
障害者（児）相談支援事業	534万円
重度心身障害者医療費援助事業	4,250万円
障害者自立支援給付事業	3億1,362万円
保育所運営事業	3億869万円
開所時間延長保育促進事業	1,960万円
子ども医療費助成事業	5,325万円
食の自立支援事業	765万円
老人公衆浴場無料入浴券補助事業	1,330万円
小田浦地区強制排水施設整備工事	7,036万円
湯北都市下水路工事	2億6,058万円
白岩地区排水対策工事	1,699万円
河川改修事業	1,826万円
急傾斜地崩壊対策事業	1,287万円
公営住宅等管理事業	5,174万円
浄化槽設置費助成事業	3,343万円
芦北町清掃センター整備事業	2億3,871万円

●生きがいのある働き場づくり



強い農業づくり交付金事業	6億9,768万円
中山間地域等直接支払事業	4,769万円
中山間地域総合整備事業	1億2,657万円
用排水路改良補助事業	537万円
県営芦北地区排水対策特別事業	1億1,000万円
芦北町木造住宅建築支援事業	2,107万円
林道維持管理事業	2,137万円
林道舗装事業	1,021万円
水産資源回復・基盤整備事業	789万円
牛の水漁港整備事業	2,641万円
商工業振興事業	1,013万円
緊急雇用創出基金事業	6,833万円
ふるさと雇用再生特別基金事業	1,187万円

●豊かな心の人づくり

小中学校施設耐震化事業	3億1,008万円
スクールバス運行事業	3,159万円
準要保護児童生徒就学援助事業	1,159万円
小中学校修繕・改修事業	6,932万円
花岡地区埋蔵文化財発掘調査事業	4,119万円

●生活を支える基盤づくり

テレビ共聴施設デジタル化事業	2,357万円
地方バス路線維持事業	3,955万円
佐敷駅通路橋整備事業	1,225万円
地籍調査事業	1億1,330万円
道路改良事業	1億2,799万円
町道瀬戸線改良事業	1,531万円
橋りょう新設維持工事	7,247万円
交通安全施設設置事業	1,327万円
道路維持修繕工事	1,668万円
新設舗装工事	2,706万円



田浦子育て支援センター 1月の行事

- 5日(木) 新春お茶会
 - 10日(火) 昔遊びを楽しもう
 - 13日(金) アンパンマンのホットケーキを作ろう
 - 16日(月)～20日(金) 鬼のお面を作ろう
 - 26日(木) 身体測定・誕生会
- ※支援センターは未就園児と保護者の方どなたでも利用できます。気軽においでください。
- ◆センター利用時間 毎週月曜日～金曜日
午前9時30分～正午 午後2時45分～午後5時15分
- *お問い合わせ 田浦子育て支援センター(田浦保育所内)
☎87-0034

九州新幹線(熊本駅～新水俣駅間)の走行試験を行います

九州新幹線新八代駅付近の線路改良工事の完了にともない、速度向上試験を夜間に実施します。

沿線にお住まいの方々にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

▼試験区間 熊本駅～新水俣駅
▼試験期間 平成24年1月15日(日)～1月22日(日)予備日含む
▼試験時間 午後11時～午前6時(1日3往復)

「学生等就職面接会」を開催します!

大学(院)・短期大学・高等専門学校などを来春卒業予定の就職未定の方および卒業後概ね3年以内の方と県内企業との合同面接会「Jobnavi SECOND学生等就職面接会」を熊本労働局、県内各ハローワーク(公共職業安定所)、熊本県、熊本市、熊本新卒者就職応援本部の共同主催により開催します。

▼日時 平成24年1月24日(火)
午後0時45分～午後4時
(求人者受付 正午～、求職者受付午後0時30分～午後3時30分)

▼場所 興南会館
(熊本市本山町131)

▼参加企業 「Jobnavi SECOND学生等就職面接会」30社

※参加希望の企業は、事前申し込みが必要です。(申込先ハローワーク水俣 ☎62-8609)

▼申込期限 12月15日(木)

▼参加対象者 大学(院)・短期大学・高等専門学校・専修学校を来春卒業予定の就職未定の方および卒業後

金融アドバイザーを派遣します

地域や学校で開催される学習会・講演会へ消費者教育を行う金融広報アドバイザー(講師)を派遣いたします。アドバイザーが必要な場合は、悪質商法・生活設計・年金等のテーマ、開催場所、時間等を連絡ください。なお、金融広報アドバイザーへの謝礼、交通費は不要です。

【テーマ例】「携帯電話を使った消費生活トラブル」、「多重債務にならないために」、「高齢者をめぐる悪質商法」

*お問い合わせ
熊本県金融広報委員会
(県庁消費生活課内)
☎096(383)2323

「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」

平成18年6月に法律が施行され、毎年12月10日～16日までを「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」と定められました。政府認定拉致被害者である

多重債務無料相談会

借金問題でお悩みの方、相談員や弁護士、司法書士が相談をお受けします。

経営指導員による事業者向けの相談や臨床心理士によるこころの健康相談もお受けします。ひとりでも悩まず、ご相談ください。(秘密は守られます。)

▼日時 12月19日(月)

▼場所 八代市役所5階 大会議室

▼当日受付時間 午後0時30分～午後3時30分
(相談時間は1人70分です。)

*予約・お問い合わせ
熊本県消費生活センター
☎096(383)0999
(ご希望だけ予約をお願いします。)

芦北に残る文化遺産

⑦ 野添眼鏡橋

(芦北町指定史跡 昭和54年3月20日指定)



◀平成20年度に修復された野添眼鏡橋

熊本県内には数多くの石橋が残り、その数は300を超えているといわれています。このうち芦北水俣地域には20以上の石橋があり、芦北町内にも9つが現存しています。

ほとんどの橋が町の指定文化財に指定され、現在も橋としての機能を保ちながら、周辺住民の生活の中に溶け込んでいます。野添眼鏡橋(芦北町大字小田浦)も、その一つにあたります。もともと眼鏡橋とは、石造りで半円形のアーチを持つ橋のことで、有名な長崎の眼鏡橋のように連続したアーチと川の水面に映る姿が合わさると眼鏡のように見えることから、その名がついたといわれています。野添眼鏡橋は長さ3.4m、幅3.3m、高さ1.9mで、アーチの数も一つだけの小さな橋ですが、芦北町内で薩摩街道上に残っている唯一の眼鏡橋です。架橋に関連する資料は残されていませんが、江戸時代の末期、あるいは明治15年頃に、種山石工(現在の八代市種山地区に居住していた石工集団で、通潤橋や霊台橋を手掛けた)の手で小田浦川に架橋されたと推定されています。

昭和57年に芦北地方を襲った大水害をはじめ、長年、大水のたびに激しい水流にさらされてきた野添眼鏡橋は、橋を構成する石材の一部が抜け落ち、また基礎部分の石組みも緩むなど、一時期は橋そのものが崩れてしまう危険性がありました。しかし、近年の修復工事で石材の補強や組み直しを行い、元の姿を取り戻しています。山あいの谷川に架かる小さな橋ですが、橋の上を歩き来した旅人を思い浮かべに訪れてみてはいかがでしょうか。

年末年始の業務案内

町関係主要施設	休館(場)日	備考
御立岬温泉センター	12月29日(木)、12月30日(金)	12月31日(土)は、12:00～20:00まで営業
御立岬公園	12月29日(木)～12月31日(土)	
マリンハウス	12月28日(水)～12月30日(金)	12月31日(土)は、宿泊予約者のみ
物産館肥後うらら	1月1日(日)	12月31日(土)は、8:00～17:00まで営業
たばくまん	12月31日(土)～1月1日(日)	12月31日(土)は、おせちの引渡しのみ
芦北海浜総合公園	12月29日(木)～1月1日(日)	1月2日(月)は、先着100人に豚汁の振る舞い
大野温泉センター	1月10日(火)、1月11日(水)	12月31日(土)は、16:00まで営業 1月2日(月)は、9:00～21:00まで営業
ヘルシーパーク芦北	1月1日(日)	12月31日(土)は、18:00まで営業
計石温泉センター	1月1日(日)	12月31日(土)は、18:00まで営業
湯浦温泉センター	1月1日(日)	12月31日(土)は、18:00まで営業
しろやまスカイドーム、交流センター	12月28日(水)～1月3日(火)	1月4日(水)は、9:00～17:00まで開館 5日(木)から通常どおり開館
温泉プール	12月28日(水)～1月1日(日)、1月3日(火)	1月2日(月)は、10:00～17:00まで開館 4日(水)から通常どおり開館
岩崎グラウンド	12月29日(木)～1月3日(火)	
星野富弘美術館	12月29日(木)～1月1日(日)	1月2日(月)、1月3日(火)は臨時開館

お誕生おめでとう

H23.11.1～11.30 受付分（敬称略）受付件数 14 件

氏名	誕生日	性別	保護者	区
平野 煌貴	10.24	男	俊彦	國見
釜 海聖	10.29	男	裕一朗	女島西
永江 姫愛	10.31	女	彰悟	湯浦南
永坂 眞珠	11.7	女	泰尚	八幡
藤井 悠太	11.8	男	智洋	平生
藤井 ひなた	11.12	女	祐太	湯南団地
橋本 ひかり	11.14	女	伸介	湯浦南
竹内 綾希	11.14	女	優一	湯浦南
生魚 優志	11.19	男	秀一	湯浦南
白樫 美波	11.19	女	辰也	花岡西
倉本 理音	11.19	男	裕太郎	田浦2
平生 陽菜乃	11.22	女	孝幸	平生
牧川 実愛	11.25	女	誠	横居木
田山 聖陽	11.28	男	信也	花岡東

※本町窓口へ届出を出された方で、承諾を得た方を掲載しています。
町外に提出された方で、掲載を希望される場合は、役場秘書広報係までご連絡ください。

ご冥福をお祈りします

H23.11.1～11.30 受付分（敬称略）受付件数 22 件

死亡日	亡くなられた方	年齢	区
11.1	塚本 徹	61	井牟田2
11.3	坂本 セツ子	70	花岡東
11.4	宮崎 竹春	81	海浦1
11.5	中森 隆満	82	湯浦南
11.5	福浦 只喜	79	福浦
11.7	濱崎 輝夫	67	田浦2
11.9	岩間 田取	84	宮崎
11.11	山田 悦子	79	白岩
11.12	石村 喜代子	77	計石西
11.13	溝口 マツノ	96	海浦1
11.17	藤井 アキユ	90	白岩
11.18	西 英紀	72	上町
11.19	椎葉 フサエ	87	黒岩
11.19	倉間 正人	83	豊岡
11.20	橋口 京子	75	田浦2
11.21	江口 ハルエ	85	高岡南
11.25	田上 俊信	72	小田浦5
11.28	谷口 シズエ	93	海浦2
11.28	久米田 實光	88	計石西
11.29	平生 サダメ	93	平生

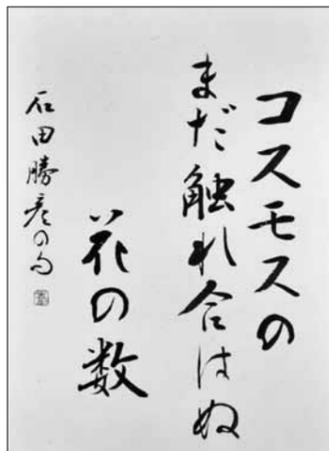
※本町窓口へ届出を出された方で、掲載の承諾を得た方を掲載しています。

人口の動き (H23.12.1 現在) ()内は前月比

人口	19,883人	(-19)
男	9,273人	(-10)
女	10,610人	(-9)
65歳以上	7,025人	(+12)
高齢化率	35.3%	(+0.1)
世帯数	7,624世帯	(±0)

「コスモス」(石田勝彦の句)

牧野トシエ



【町民講座】

書道 (かな)

短歌

生徒らは部活のまま雨にぬれ自転車で行く家路いそぎて
エンジンを止めたる舟の静けさを引き裂く丘のユンボの音が
出席は九割ちかくクラス会熟女集まる個性派ぞろい
新米を子に送らんと荷作りす桔梗の便箋一枚添えて
山里のたわわに実る柿の実取る人もなく落陽に輝る
尾上 洋子

松本 洋子
山本千恵美
宮石 照代
下田みのぶ

【町民講座】

寺庭に日毎散りしく柿落葉時雨に濡れている鮮らけし
風なきにコスモスの花揺れゆれて花は会釈をしているごとし
戦中の話をすれば限りなし苦勞話も笑って話す
縁側にすすきに団子お供えし十五夜の月みどれて坐る
何時しかに聞えずなりし虫の声今朝は草の上露霜の見ゆ
竹下 京子
山下 俊子
嶋本スエ子
塩嶋 俊次
野浦 悟

【田浦荘短歌会】

芦北警察署からのお知らせ

●お問い合わせ
芦北警察署 ☎82-3110

110番は正しい利用を!

～110番通報のポイント～

▶110番する時は

- なにが・・・何があったのか(事件か、事故か)
- いつ・・・何時ころあったのか
- どこで・・・発生した場所は、目印等を落ち着いて話してください。
その他必要なことは係員がお尋ねします。

▶110番通報時の心掛け

- 警察官の早い現場到着が事件解決のポイントです。
事件事故が発生したら、直ちに通報してください。
- 事件・事故の現場を詳しく
110番通報は、どの地域からでも全て警察本部へかかります。
市町村名、電話番号、付近の建物、駅・停留所等の目標物を言ってください。目標物が無い場合は、付近の九州電力の電柱番号を知らせてください。

▶携帯電話による通報上の注意

- 移動しながらの通話は、声が聞き取りにくいうえ、電波状態が不安定になりますので、出来るだけ移動せずに通話してください。
- 県境付近では、他県の警察本部へつながる場合があります。

※110番は、一刻を争う緊急事態に即応するための大事な電話です。

相談や問い合わせなど急ぎでない電話は、110番せずに警察相談専用電話#9110もしくは最寄りの警察署に電話してください。

また、いたずらや間違い電話が110番にかかると緊急電話の受信に支障となるので、110番は正しく利用しましょう。(注意:いたずら電話は罰せられることがあります)

芦北消防署からのお知らせ

●お問い合わせ
芦北消防署 ☎82-4731

火事と救急は119



もち等による窒息事故に注意

正月を迎えると、もちを食べる機会が多くなり、もちをのどに詰まらせて窒息する事故が多く発生しています。特に幼児や65歳以上の高齢者に多く発生していますので、十分注意して食べましょう。

予防法

- ・小さく切って食べる
- ・しっかり噛んで、唾液とよく混ぜ合わせてから飲み込む。
- ・お茶や水などの水分を取りながら食べる。
- ・一人で食べるのはやめる。

対処法

- ・まずは救急車を要請しましょう。
- ・手の付け根で肩甲骨と肩甲骨の間を強く叩きましょう。
- ・意識がなくなったら胸骨圧迫(胸の真ん中を1分間に100回のリズムで成人は5cm以上、小児は胸の厚さ約1/3が沈むぐらいの強さで押す)をしましょう。
※救急車が到着するまで、電話を切らずに消防署員の指示に従ってください。



第62回熊日三太郎駅伝競走大会



皆さまのご声援よろしくお願いします！

■ 日 時 平成24年1月8日（日） 午前10時スタート

スタート ▶ フィニッシュ（ゴール）
 水俣市役所 ▶ 芦北町地域活性化センター
 （旧農村環境改善センター）

※町内の主な中継所の通過予定時間
 馬出野三叉路：午前11時11分頃
 勤労者福祉会館前（向町）：午前11時39分頃
 地域活性化センター：午後0時20分頃

第8回 芦北町音楽祭



県内の吹奏楽団5団体による吹奏楽コンサートとフロアドリルをお楽しみください

■ 期 日 平成24年1月22日（日）

■ 時 間 午後1時開場 午後1時30分開演

■ 場 所 しろやまスカイドーム

■ 入場料 （前売り券）高校生以上1,000円 小中学生500円
 （当日券）高校生以上1,500円 小中学生700円

■ チケット販売所 生涯学習課、社会教育センター、
 しろやまスカイドーム、各出張所、商工観光課

オープニング♪芦北町吹奏楽団

【出演団体】

♪ 託麻西小学校

♪ 西里小学校

♪ 合志中学校

♪ 三和中学校

♪ 専修大学玉名高校

芦北町立星野富弘美術館だより

開館5周年を記念して原画展を開催します。
 星野氏の幼い頃の作品や最近の作品など幅広く展示します。初めて芦北町にやってくる作品も多いので、ぜひお越しください。

◇「奇跡の足あと・星野富弘展」

▼ 期間 12月14日（水）～3月11日（日）

▼ 休館日 第2・4月曜日

12月29日～1日1日



▲「ぼたん」1986年

*お問い合わせ

星野富弘美術館

☎（86）1600

編集後記

今年も1年いろいろな出来事がありました▼一番印象深いのは、やはり東日本大震災。広範囲にわたってたくさんの方が被災し、多くの尊い命が失われました▼『津波は来ない。逃げなくても自分は大丈夫』という気持ちが多々の方々が亡くなられた原因のひとつと新聞・テレビなどで報道されました▼芦北町も東日本大震災を教訓に防災意識を高めてもらおうと地震防災訓練を実施しました。「自分だけは大丈夫」と考えず、日頃から災害が起こった場合の想定が必要です▼今年も残すところあとわずかとなりました。嬉しかったこと、悔しかったこと、今年やろうと思っていたできなかったことなど平成23年の出来事を振り返り、気持ち新たに新年を迎えようと思います。（寺）